



平成30年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月7日

上場会社名 株式会社ワンダーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 3344 URL <http://www.wonder.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 修
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮本 正明 (TEL) 029-853-1313
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績 (平成29年3月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	17,905	△3.4	33	△1.7	81	30.5	42	—
29年2月期第1四半期	18,536	△5.5	33	△33.6	62	△28.3	△23	—

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 88百万円(—%) 29年2月期第1四半期 △0百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	7.68	—
29年2月期第1四半期	△4.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第1四半期	36,636	10,087	26.4
29年2月期	35,643	10,055	27.0

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 9,676百万円 29年2月期 9,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年2月期	—	—	—	—	—
30年2月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想 (平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	72,500	△2.3	300	—	380	—	0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期1Q	5,579,184株	29年2月期	5,579,184株
② 期末自己株式数	30年2月期1Q	1,853株	29年2月期	1,647株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期1Q	5,577,459株	29年2月期1Q	5,578,643株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策による企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調にあるものの、依然として個人消費は力強さに欠け、また、米国の政策運営や欧州の政治情勢、地政学リスクの高まりなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、激変する事業環境に対応すべく、経営体制の強化・充実を図り持続的な成長発展と更なる企業価値の向上を目指し、取締役の削減を始めとする経営体制の大幅な刷新を行いました。また、新たな事業領域として、地域の健康志向の高まりを受け、これまで当社が提供してきたエンターテインメントのノウハウを活かし、フィットネス事業に参入することを決定いたしました。

WonderG00事業におきましては、新型ゲーム機の発売などによりゲーム部門において好調に推移しました。一方でエンタメ部門の売上縮小傾向を受けて、各業務改善プロジェクトの発足や本部人員の店舗への異動など、疲弊した店舗売場の立て直しとQSCの改善に着手いたしました。今後、各店の収益力の向上を図るべく様々なアクションを遂行してまいります。

新星堂事業におきましては、一部の大型アーティストによる映像ソフトの販売が寄与したことで好調に推移いたしました。また、5月には大型音楽イベントや人気アーティスト関連商品の委託販売などを請負い、店舗や商業施設等を利用したイベント事業を拡大いたしました。今後も音楽映像に関わるあらゆるライフスタイルを積極的に提案し続けてまいります。

WonderREX事業におきましては、4月にはWonderREX野田桜の里店（千葉県）を移転増床オープンし、リユース事業の拡大に努めてまいりました。また、今後継続的に事業を成長させるため、社内人員育成を目的としたREX大学を組織化し、商品査定や接客訓練、査定価格マスタを系統的に整備することで人材の育成と確保を実施してまいりました。また、従来の店舗買取だけでなく、Web買取や出張買取を強化し、事業拡大に必要な在庫買取の取組みに注力いたしました。

TSUTAYA事業におきましては、主力である映像・音楽レンタル部門が、スマートフォン・タブレットの普及によるインターネット動画配信サービスの台頭により厳しい状況が続いております。また、好調であった中古トレカが、一部タイトルのルール改定により販売や買取が停滞するなど収益面でも影響が及んでおります。これに対し、独自で展開している有料会員サービスの「ファースト会員」への加入促進を図り、安定的な収益確保を進めてまいりました。

当社グループにおける当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、WonderG00事業78店舗（内、FC9店舗）、WonderREX事業24店舗（内、FC2店舗）、TSUTAYA事業87店舗、新星堂事業106店舗、合計295店舗となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は17,905百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益33百万円（前年同期比1.7%減）、経常利益81百万円（前年同期比30.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益42百万円（前年同期は23百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、22,283百万円となり、前連結会計年度末に比べ979百万円増加いたしました。これは主に、未収入金が79百万円減少したものの、現金及び預金が794百万円、売掛金が257百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、14,352百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が71百万円減少したものの、無形固定資産が88百万円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、18,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ739百万円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が72百万円減少したものの、賞与引当金が109百万円、買掛金が651百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、7,690百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、10,087百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益42百万円と、剰余金の配当55百万円の支払い、非支配株主持分9百万円の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月7日付で公表しました連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,572,292	4,367,061
売掛金	1,217,465	1,474,702
商品	14,591,793	14,583,796
貯蔵品	18,813	19,093
未収入金	673,909	594,127
繰延税金資産	323,160	331,670
その他	911,910	921,032
貸倒引当金	△4,832	△7,614
流動資産合計	21,304,513	22,283,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,224,817	4,203,496
その他(純額)	3,462,750	3,412,967
有形固定資産合計	7,687,567	7,616,464
無形固定資産		
のれん	281,499	252,121
その他	347,684	466,051
無形固定資産合計	629,184	718,173
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,356,132	5,370,157
その他	755,520	736,967
貸倒引当金	△89,914	△88,950
投資その他の資産合計	6,021,738	6,018,174
固定資産合計	14,338,490	14,352,812
資産合計	35,643,004	36,636,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,199,914	4,851,699
短期借入金	8,600,000	8,600,000
1年内返済予定の長期借入金	1,967,679	1,895,127
未払法人税等	184,058	123,161
賞与引当金	165,998	275,287
ポイント引当金	533,872	480,778
その他	2,467,323	2,632,758
流動負債合計	18,118,847	18,858,812
固定負債		
社債	—	200,000
長期借入金	3,623,943	3,724,859
退職給付に係る負債	583,777	532,896
長期預り保証金	466,472	464,507
資産除去債務	831,663	834,777
繰延税金負債	1,125	326
その他	1,962,138	1,932,961
固定負債合計	7,469,120	7,690,329
負債合計	25,587,967	26,549,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,358,900	2,358,900
資本剰余金	2,472,235	2,472,235
利益剰余金	4,794,457	4,781,534
自己株式	△1,367	△1,559
株主資本合計	9,624,226	9,611,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	679	523
退職給付に係る調整累計額	9,588	64,667
その他の包括利益累計額合計	10,267	65,190
非支配株主持分	420,542	411,237
純資産合計	10,055,036	10,087,540
負債純資産合計	35,643,004	36,636,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	18,536,259	17,905,064
売上原価	12,127,354	11,762,357
売上総利益	6,408,904	6,142,706
販売費及び一般管理費	6,375,333	6,109,697
営業利益	33,570	33,008
営業外収益		
受取利息	10,194	8,025
受取手数料	47,124	43,225
その他	22,676	36,186
営業外収益合計	79,995	87,438
営業外費用		
支払利息	39,924	35,393
その他	11,287	3,650
営業外費用合計	51,212	39,044
経常利益	62,354	81,402
特別利益		
固定資産売却益	1,844	—
特別利益合計	1,844	—
特別損失		
固定資産除却損	3,041	739
特別損失合計	3,041	739
税金等調整前四半期純利益	61,157	80,663
法人税、住民税及び事業税	71,512	48,141
法人税等調整額	△5,644	△1,111
法人税等合計	65,868	47,029
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,711	33,633
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	18,710	△9,218
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,421	42,852

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,711	33,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198	△241
退職給付に係る調整額	4,442	55,078
その他の包括利益合計	4,243	54,836
四半期包括利益	△467	88,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,105	97,775
非支配株主に係る四半期包括利益	18,638	△9,304

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。